# 古座川版エコツーリズムによる地域産業の創出

## 現状と課題

- ◆'清流古座川'を代表とする豊かな 自然環境の保全と活用の必要性
- ◆宿泊者数は低位で減少傾向にあり (H20;6,442人、対前年比▲14.5%) 体験型観光の実績も少なく(H20: 600人)、固有の資源を十分に活かし きれていない。

自然環境の保全と観光振興による エコツーリズムの推進と、古座川ブ ランドを活かした食や物販等が一体 となった地域産業の育成

#### 【事業主体】

古座川ブランド推進協議会(仮称) 古座川町、古座川町ふるさと振興公社 古座川ゆず平井の里、民間事業者

#### 【活用事業】

わがまち元気プロジェクト支援事業 新農林水産業戦略プロジェクト推進事業 ふるさと雇用対策事業 古座川町事業

【全体事業費】 25,887千円

□ □ 12.346千円 県 9.308千円 -民間事業者 4,233千円

## 取組の3本柱(H22~H24)

#### 〈1、エコツーリズムの基盤づくり〉

21.957千円

#### (1)自然保全・学習を盛り込んだ 体験型商品の開発【町、協議会】

- ①《「川」 清流古座川の維持・再生》
  - ・カヌー体験と古座川クリーンアクション
  - ・古座川のせせらぎ体験と水質学習
- ②《「山」 自然林の保護や学習》
  - 自然林復元植栽、皮むき間伐体験ウオーク
  - ・滝の音体感ウオーク
- ③《「古座街道」 古座川の歴史・文化体験》
  - ・古座街道ウオーク
  - ・古座街道川舟下り

築

【協議会】

#### (2)エコツーリズムガイドの育成

- 〇当面の目標・・・10名~20名 (ガイド候補公募)
- ①エコツーリズムガイド養成講習会等への受講支援
- ②古座川エリアでの実地研修や先進地域への研修支援
- ③ '古座川エコツーリズムガイド'の登録

### (3)古座川エリアでの着地型観光の展開

【ふるさと振興公社、観光協会、体験型観光事業者】

- ①ワンストップ窓口の運営とゲスト搬送システムの構築
- ②エコツーリズムガイドの運用
- ③体験と食事・宿泊を組み込んだ旅行商品の企画造成

### 〈2、古座川地域ブランド産品づくり〉

1.949千円

### (1)古座川ならではの特産品や食づくりと 'おもてなし'の向上【協議会】

- ① '古座川の水' に育まれた特産品の統一基準づくり
- ②ゆず、和蜜、原木しいたけ等を活用した新商品の開発支援
- ③地元の食材を活かした「おばちゃんがつくる」食事メニュー の開発支援
- ゆず・和審・しいたけ・山菜・鮎・ウナギ・手長エビ 等 ④地域ぐるみでのおもてなし研修

#### (2)特産品・料理の販売促進

【道の駅・飲食店、加工・宿泊事業者】

①道の駅「一枚岩」等でのオリジナル新商品の販売

## 〈3、古座川ファンづくり〉 【協議会】

1.981千円

- ①宿泊者・特産品購入者等で構成される「古座川ファン クラブ」の設置
- ②体験型旅行専門サイトやエコウオーク推進団体HPへの ツアーメニュー掲載
- ③アウトドア企業と連携したイベントやツアー商品づくり
- ④産品の販路拡大を通じた"古座川ブランド"の発信

標 目

## 豊かな自然の保全と活用によるエコツーリズムと、食や特産品づくりによる"古座川版地域産業おこし"

保全参加型体験

宿泊者

600 人(H20) →

5,000 人(H25) →

10,000人(H28)

※H20:ほんまもん体験実績

観光消費額 100,000千円(H20) → 220,000千円(H25) → 500,000千円(H28)

6.442人(H20) →

10.000人(H25)  $\rightarrow$ 

20,000人(H28)

特産品等売上 35,000千円(H20) → 83,000千円(H25) → 200,000千円(H28)

